

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.16

発行所／〒651 神戸市中央区中島通2-3-5 神戸ルーテル神学校内



**日本福音主義
神学会が結ぶ実**

全国理事長 真鍋 孝

日本福音主義神学会は、どのような実を結んでいるのだろうか。

にもたらすものが何であるかを探してみたく思う。

神学会が結成されて四半世紀が近づきつつある今、私達神学会員は、自分達の歩みの中で、どのような実が結ばれているかを冷静に吟味する必要がある。

神学会の評価を、神学会が主催する研究会議へ出席する人々の人数によって下すことは余りにも短絡的であるかもわからない。しかしながら、出席したいという思いを持つことができないような研究会議の在り方も十分検討されなければならない。

全国的には四〇〇名を越える会員を擁する神学会でありながら、どうして会員諸氏からの積極的參與が最も低調なのか。今後の神学会活動の大きな課題として、これを受け止めていきたく思う。

みことばの重要性

神学会が今後更に主に用いられると言えば、それはあくまでもみことばの真理に立ち続けてのことであると私は確信している。残りの紙数は、みことばの研鑽が私達

ヨハネ十七章14～19節（新改訳）

14わたしは彼らにあなたののみことを与えました。しかし、世は彼らを憎み、迫害した。それでも、彼らを憎みました。わたしがこの世のものでないよう、彼らもこの世のものではないからです。

15彼らをこの世から取り去つてくださるよう、というのではなく悪い者から守つてくださるようにお願いします。

16わたしがこの世のものでないよう、彼らもこの世のものではありません。17真理によつて彼らを聖め別つください。あなたのみことばは真理です。

次のように要約された。「わたしは彼らにあなたののみことばを与えた」（14節、傍点は筆者）と、「あなたののみことばである。神のことばを信じたキリストの弟子達はこの世の価値感から贖い出され、キリストに属する者となつた。しかし、サタンに支配されていた世は彼らを憎み、迫害した。それでも、彼らはみことばによって世と一線を画して立ち続けることが出来るのである。

みことばは聖別の実を結ぶ

主イエス・キリストは、弟子達のために「真理によつて彼らを聖め別つてください。あなたのみことばは真理です」（17節、傍点は筆者）と祈られた。みことばは、キリストの地上生涯の後も、キリストの弟子達をこの世から聖別し、サタンから守るのである。真理のみことばを教える聖霊の働きによって、今もキリストの弟子達は聖め別たれ続けているのである。

みことばの研鑽は、研究者自身を直前にして遺言のような最後の説教をされ、その後、弟子達のために祈られた。その祈りの中で、ご自分の三年半ばかりの公生涯を

きを通して、諸教会がどれ程、聖め別たれてきたのだろうか。この問い合わせを今、私達一人ひとりがせねばならない。

各地区部会報告

東部部会報告

一九九二年六月～一九九三年五月
一、理事会活動

① 理事会構成	『役員理事』
理监事会構成	副理事長
《部門理事》	理事長
一般学 聖書学	書記
歴史神学 組織神学 実践神学	藤原導夫 藤本満 佐布正義 大滝信也 内田和彦 横山武 伊藤淑美 金本悟 倉沢正則
沼慎二 津村俊夫 内田和彦 横山武 伊藤淑美 金本悟 倉沢正則	

②
《無任所理事》
下川友也
薦田公也

二、研究会活動
【第一回研究会議】
一九九二年五月一日
於／OCC
a. 「死のもたらす諸問題」
発表／伊藤淑美氏

四、JETSニュースの発行
一九九二年八月に東部の責任で
神学会ニュース一五号を発行し
た。
研究発表 二名
(出席者一〇名)

③
理事会報告
通常の報告、処理とは別に以
下の事柄を審議した。

b. 「死を見極め、死に勝つ生
きざま」(講演会)
講演者／中島美智子氏

五、会員の現況
名譽会員 四名
賛助会員 一一名
正会員 一七〇名
準会員 二〇〇名
合計 二〇五名

部門活動を活性化すべきこと
が確認され、年に一回ずつぐら
いの部門活動をするよう働きか
ける。またそのための五つのそ
れぞれの部門に一・四万円ずつ
活動費を支出することを決定。

【第二回】
一九九二年一〇月一六日
於／OCC
秋の研究会議「進化論と聖書」
講師
宇佐神正海氏
大谷順彦氏
稻垣久和氏
(出席者八三名)

六、一九九三年度総会および春期
研修会
名譽会員 四名
賛助会員 一一名
正会員 一七〇名
準会員 二〇〇名
合計 二〇五名

三、部門活動
【聖書学部門】
一九九三年一月一五日
於／OCC
研究発表 四名
スライド発表 一名
(出席者一三名)

【総会】
一九九三年五月一四日
午後一時～二時四十五分
於／OCC
礼拝
説教者／津村俊夫氏
「異教社会における信仰告白」
議事
議長／佐布正義理事長

【実践神学部門】
一九九三年二月三日
於／OCC
研究発表 四名
スライド発表 一名
(出席者一三名)

【研修会】
講師／H・ネットランド氏
「宗教の多元化と日本の宣教」

【第一回】
一九九三年三月一九日
於／OCC
一九九三年度の総会および第一
五回春季研修会の準備作業を
し、研修会の主題および講師を
以下のように決定した。
「宗教の多元化と日本の宣教」
H・ネットランド氏

【第二回】
一九九三年三月一九日
於／OCC
秋の研究会議「進化論と聖書」
講師
宇佐神正海氏
大谷順彦氏
稻垣久和氏
(出席者八三名)

【研修会】
講師／H・ネットランド氏
「宗教の多元化と日本の宣教」

- ・主題の方向
歴史神学と実践神学にわたりするテーマを考える。
- ・準備 第一回の準備委員会を開催する。
第一回の準備委員会を一九九三年一〇月頃に開催する。
- ・準備委員 各部会の次回の理事会で準備委員を選出する。
- ・JETSニュースに關して
・第一六号を西部部会の責任にて発行する。
- ・次回全国理事会
日時 一九九四年五月二三日
午後一時～五時
会場 名古屋中小企業センター
- 以上報告いたします。
全国書記 橋本昭夫

学人誌『福音主義神学』 編集委員会報告

- | 【現状の配布状況】 | |
|------------------------------|------|
| 東部 | 四〇〇部 |
| 中部 | 一〇〇部 |
| 西部 | 三〇〇部 |
| 委託 | 二〇〇部 |
| (いのちのことば社) | |
| 印刷費は約一二〇万円であった
(予算は一四〇万円) | |
| 二、第二四号の編集を次のように決定した。 | |
| テーマを「礼拝論」とする。 | |
- 【執筆依頼】
- 安田吉三郎氏 「改革派教会の礼拝」
 - 橋本昭夫氏 「ルターの派教会の礼拝」
 - 高橋正男氏 「ホーリネス教会の礼拝」
 - 白石氏 「教会音楽と礼拝」
 - 眞鍋孝 理事長 「教会音楽と礼拝」

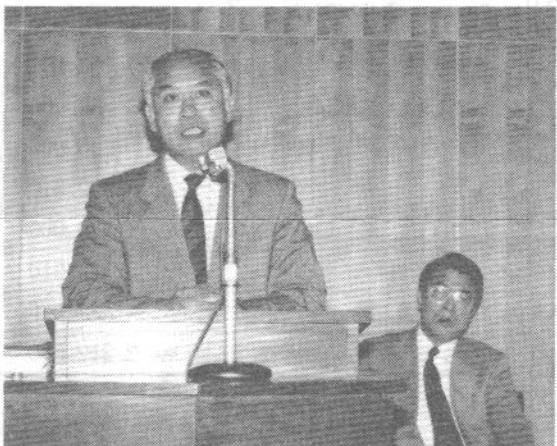
- 文献表
- 卷頭言
書評
編集委員 木内伸嘉(東部)
金田幸夫(中部)
石黒則年(西部)
鍋谷邦爾(顧問)
- 学会誌編集委員会が数回開かれその作業の主要内容は以下のとおりである。
- 一、第二三号特集「聖靈論」の出 版状況の報告
- その他、会堂建築、教会音楽などについて執筆者を調査し、適当な執筆者があれば委員会で決定する。発行十月を予定。

JETSニュースをお届けします。一六号を数えるにいたりました。それは福音主義神学会の年輪です。日本福音主義神学会が組織されて以来の二〇年余、教会をとりまく世界も日本も激動の時代を経験しています。福音主義神学会も時のしるしを見、それに対応する神学的研鑽と実践が求められています。

「継続は力なり」と言われますが、福音主義神学会の働きにも妥協する言葉です。設立当初の先生

方が顧問などになられ、新しい世代の担い手がその働きを継承します。これから福音主義神学会は、先輩の諸先生方の日本におけるヴァイタルな福音主義神学確立への情熱を引き継ぎつつ、さらに学的・実践的両面におけるヴァイタルな福音主義神学の強化をはかっていかねばと思われます。伝道・牧会・教育など、多忙な活動の中での神学的研究ですが、部会レベルで、全国レベルで地道に成果を積み重ねていくことが切実に求められています。諸部会の秋の活動の上に祝福を祈りつつ。

(H)



1993年春・西部々会
研究会議風景
講演する牧田吉和氏
背後は小川国光氏
(写真提供・クリスチャン新聞)

会計報告

福音主義神学会(全国会計) 1992年度決算報告ならびに1993年予算

収入の部

項目	1992年度予算	1992年度決算	1993年度予算
東部負担金	740,000	740,000	600,000
中部負担金	130,000	130,000	120,000
西部負担金	500,000	500,000	450,000
全国学会誌売上	210,000	215,000	210,000
広告代	340,000	340,000	340,000
献金	0	0	50,000
借入金	0	0	0
小計	1,920,000	1,925,000	1,770,000
前期繰越金	392,610	392,610	83,193
合計	2,312,610	2,317,610	1,853,193

支出の部

項目	1992年度予算	1992年度決算	1993年度予算
学会誌印刷代	1,400,000	1,236,000	1,300,000
学会誌編集費	220,000	220,000	220,000
理事会費	90,000	85,793	90,000
事務通信費	20,000	824	10,000
研究助成金	100,000	0	100,000
ニュース印刷代	50,000	61,800	70,000
全国名簿印刷代	30,000	30,000	0
予備費	202,610	0	63,193
出版基金へ	200,000	600,000	0
小計	2,312,610	2,234,417	1,853,193
次期繰越金	0	83,193	0
合計	2,312,610	2,317,610	1,853,193

出版基金会計 1992年度決算報告

収入の部		支出の部	
全国会計から	600,000		
前期繰越	208,421	次期繰越	808,421
合計	808,421	合計	808,421

中部部会報告

教の接点
講師／津村俊夫氏
部会研究発表会

◎第一回
一九九二年六月八日
於／大阪キリスト教短大
秋の研究会議の実施を、準備の
都合上、一九九三年春に延期す
ることを決定。研究テーマにつ
いて会員の関心を聞いていく。

九三年四月一九日にもたれる研
究会議の中で開催する。
会議とし、全日のプログラムと
する。

一九九二年六月～一九九三年五月
一、理事会活動

①

理事会構成
理事長 水上 黙
書記 安村 仁志
会計 末松隆太郎
学会誌 金田 幸男
無任所 入川 達夫
河野 勇一

②

理事会報告
理事会は、第一回・一九九二
年七月三一日、第二回・一九九二
年八月二日、第三回・一九九三年三月
二二日の計三回、東海聖書神学
塾を会場に行われ

・本年度の理事会の役職構成を
決定

・秋の研究会議の日程および発
表者、また講演者の詳細を検
討
・学会誌委員の依頼により書評
者に隈上氏を推薦
・九三年度の総会準備
などがなされた。

二、研究会活動

・神学講演会
一九九二年五月一日
於／金山キリスト教会
「旧約における聖書解釈と説

西部部会報告

一九九二年六月～一九九三年五月
一、理事会活動

理事会構成
理事長 真鍋 孝
書記 橋本昭夫
会計 真鍋 孝
理事会構成
理事長 橋本昭夫
書記 真鍋 孝
会計 真鍋 孝
一般理事 牧川康則
学会誌 小川国光
瀧浦 滋
津村春英
牧田吉和

・研究会活動
・神学講演会
一九九二年五月一日
於／金山キリスト教会
「旧約における聖書解釈と説

三、会員の状況

・贊助会員 一名
正会員 三七名

- a. 「農耕的聖書解釈の試み」／松浦 刚氏
- b. 「正典として聖書」／安田恵嗣氏
- c. 「特別講演「最近の旧約学における諸問題」」R・ヤングブラッド氏

◎第二回

一九九二年七月二七日
於／神戸ルーテル神学校
延期になつた神学研究会議の詳
細を決定。

・所／一九九三年四月一九日
所／日本キリスト改革派神港教
會

・準備委員 市川康則（長）
会 橋本昭夫 の各理事

【春季神学研究会議】
一九九二年四月一〇日
於／神戸改革派神学校
「最近の旧約学の動向」
講師 鍋谷 基爾氏

【春季神学研究会議】
一九九三年四月一九日
於／日本キリスト改革派神港教
會

・福音主義神学会の神学的基盤を
論じ、そのアイデンティティ再
確認の必要を認識した。この関
心を研究会議に反映していく。

・部会事務所が神戸ルーテル神学
校であることを確認する。

◎第三回

一九九二年一二月二八日
於／神戸ルーテル神学校
「研究会議に関して」
主題「礼拝・教会形成・宣教」
コーディネータ 市川康則氏

【講演】
a. 「福音主義に於ける神学と教
会形成－礼拝論的神学の試
み」 牧田吉和氏
b. 「神学と宣教－宣教的神学と
神学に根ざした宣教の回復を
めざして」 小川国光氏

コードィネータ 市川康則氏
委員 滝浦 滋氏
橋本昭夫氏

【理事会報告】

◎第一回
一九九二年六月八日
於／大阪キリスト教短大
秋の研究会議の実施を、準備の
都合上、一九九三年春に延期す
ることを決定。研究テーマにつ
いて会員の関心を聞いていく。

九三年四月一九日にもたれる研
究会議の中で開催する。
会議とし、全日のプログラムと
する。

・九三年度の総会関係
・九三年四月一九日にもたれる研
究会議の中で開催する。
会議とし、全日のプログラムと
する。

- a. 【部門研究発表】
聖書神学部門
「創世記」・二六における
「神のかたち」をめぐって
石黒則年氏
「最近の新約神学をめぐって」
イマタイ福音書より
津村春英氏
- b. 歴史・組織神学部門
「聖書の権威の今日的意義」
橋本昭夫氏
「キリスト教信仰と学問－カ
イバーの改革主義的視座にお
いて」
- c. 実践神学部門
「今日における『礼拝』の取
り組むべき課題」
工藤弘雄氏
「教会活性化のための一考」
鷹取裕成氏
（出席者四二名）

四、会員状況		リスチャン精神科医の立場か ら	
名譽会員	正会員	名譽会員	正会員
一四〇名	四名	一四八名	四名
準会員	合計	一二団体	一二団体

全国理事会報告書

一九九三年度 全国理事会報告書

日 時 一九九三年六月七日
会 場 名古屋中小企業センター
出席者 東部 佐布正義
中部 大滝信也
西 部 水上勲
中 部 末松隆太郎

三、九州支部研究活動

九州支部世話人
山中猛士氏 増田 祈氏

【講演会】

一九九三年三月六日
亀山栄光病院（クリスチャンホ
スピス）
「病める心へのアプローチーク

構 成
全国理事会
審 議
一九九三年度の会員数
に以下の通りである。

- ◎各部会報告、会計報告、学会誌
編集委員会の報告を承認した。
- ◎予算案の審議・決定
- ・開会式
真鍋全国理事長が第一ペテロ1
・12～21から奨励し、祈りをも
つて本理事会を開会した。
- ◎各部々会報告
全国理事会において別記各部々
会からの活動報告がなされた。
◎全国会計決算報告
・一般会計
鷹取全国会計より別記のよう
に一九九二年度の一般会計報
告がなされた。收支の財政規
模は
二、三一二、六一〇円
であった。
- ・出版基金会計
一九九二年度の会計より六〇
万円繰り入れられ、昨年度期
末の総額は
八〇八、四二二円
にとなった。
- ◎学会誌編集委員会報告
編集委員・金田幸男氏より別記
のように学会誌第二四号の編集
作業の報告があった。
- ・審議
・第七回全国研究会議について
今回は東部々会の責任で準備を
進めることを確認し、本理事会
で以下のように研究会議の大枠
を話し合った。
・日時 一九九四年一一月頃
・会場 東山荘（を考える）
- 全国理事長 真鍋孝
書記 安村仁志
同 橋本昭夫
会計 鷹取裕成（西部）
東部 六〇万円
中部 一二万円
西部 四五万円
中部 六〇万円
東部 一二万円
西部 一二万円
・部会負担金決定の原則の整備
の必要が論議され、以下のよ
うに決定した。
負担額＝会員数×三〇〇〇円
その結果一九九三年度の各部
会の全国負担額を以下のよう
にする。
・書記 安村仁志（中部）
同 橋本昭夫（西部）
会計 鷹取裕成（西部）
東部 六〇万円
中部 一二万円
西部 一二万円
・会員数×三〇〇〇円